

教科	家庭科	科目	家庭基礎	単位数	2単位	年次	2年
使用教科書	家庭基礎 つながる暮らし共に作る未来(教育図書)						
副教材等	なし						

1 授業及び学習の方法等

教科書をもとにしたプリント教材、視聴覚資料、調理実習、手芸実習、その他体験学習など。
--

2 学習の到達目標

生活の営みに係る見方・考え方をはたらかせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を育成することを目指す。
--

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	生活の営みに係る知識や技能を総合的に身につけている。	生活の営みに係る課題を見出し、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身につけている。	生活の営みに係る事柄に関心を持ち、その充実と向上を目指して主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身につけている。
評 価 方 法	前期末・後期末の定期考査、授業中に行う小テストなど。	発表した内容をプリントなどにまとめ	実生活で取り組んでいることを

※ 上に示す観点に基づいて、学習のまとめごとにより評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。

※ 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習活動

期	単元	内容(項目), 教材, 目標	主な評価規準
前期 中間		1.生活設計 2.青年期と家族 3.保育 4.高齢期	a:プリントの提出 b:レポートの提出・授業中の話し合い c:小テスト
		5.共生社会 6.食生活	a:プリントの提出 b:レポートの提出・授業中の話し合い c:小テスト
前期 期末		7.食生活 8.衣生活 9.住生活	a:プリントの提出 b:レポートの提出・手芸実習・授業中の話し合い c:小テスト
後期 中間		10.経済計画 11.消費生活 12.環境	a:プリントの提出 b:レポートの提出・授業中の話し合い c:小テスト
後期 期末			

※ 表中の観点について a:知識・技能, b:思考・判断・表現, c:主体的に取り組む態度 である。